

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立東貴志小学校（和歌山県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用①」

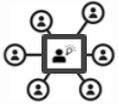
児童が使用するシートをクラウド上で共有し、常に他者参照・相互評価ができるように工夫しています。

《Before》

- △ 自力解決が孤独解決になっているケースがあった。
- △ 教員が児童一人一人の学習の進捗状況を把握することが難しかった。

《After》

- ◎ 集団の中に位置付いた上での、個人の最適化された学びが実現しやすくなった。
- ◎ 思考途中の共有ができ、他者参照しながら、様々な考え方に触れ、より最適な解を考えていくような学習展開もしやすくなった。
- ◎ 教員が児童一人一人の学習の進捗状況を把握しやすくなり、指導と評価の一体化を実現しやすくなった。



他者参照



相互評価

「図から九九を見つける」「直角三角形の面積の求め方を考える」
様々な考え方を他者参照しながら見つけていく

図工 作品鑑賞
作品の良さを具体的に見つける

コピーして使ってね。
3人以上に説明して、アドバイスをもとって改良しましょう。
できたらわくの中にピンどめましょう。

図から4×6を見つけてみましょう。

高のくつだから、こくぬって分りやすい
わごと白を残しているのがいい
くつの下のかげもかけている
ひものういている部分もかけていて上手

ひものだらんとした表現がすごい
くつのもようを大きく書いて分りやすい
くつの裏の部分もかけている
細かい部分もかけている

マジックテープのところが浮いて分りやすい
細かいところまで縫い目を書いています
ひもを黒くぬってわかりやすい
ニューバランスの「N」がはっきり書いています

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立東貴志小学校（和歌山県）

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

端末の持ち帰りに関するガイドラインを再検討し、学校と家庭で共通理解を図っています。

《Before》

- △ 市教育委員会から配布されたガイドラインをそのまま配布し、なかなか活用できていなかった。
- △ 保護者や児童とタブレットの持ち帰りについて、丁寧に共通理解を図ることができていなかった。
- △ 持ち帰る日を全校で統一していた。（月2回）
- △ 持ち帰ったときの課題は、とりあえずデジタルドリルを出すことが多かった。

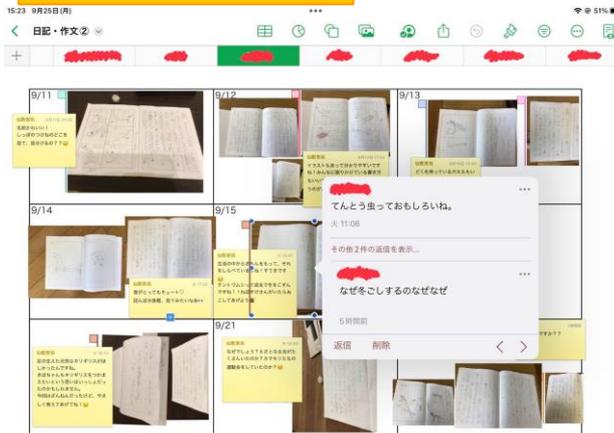
《After》

- ◎ タブレットの持ち帰るときのポイントを5つに絞り、イラストと共に示すことで、共通理解を図りやすくなった。
- ◎ 保護者に端末の持ち帰りについてアンケートをとり、その結果を共有しながら、活用を進めるようになった。
- ◎ 持ち帰る日は担任の裁量に任せられるようになり、持ち帰る頻度が上がった。
- ◎ 今までの宿題をクラウド上で共有することで、仲間とのつながりが深まったり、学校での学習の成果をビデオに撮り、それについて保護者から感想をもらったり、といった多様な家庭学習が見られるようになった。
- ◎ 毎日持ち帰る学年もあり、休んだ時の連絡やオンライン授業などをスムーズに行えるようになった。

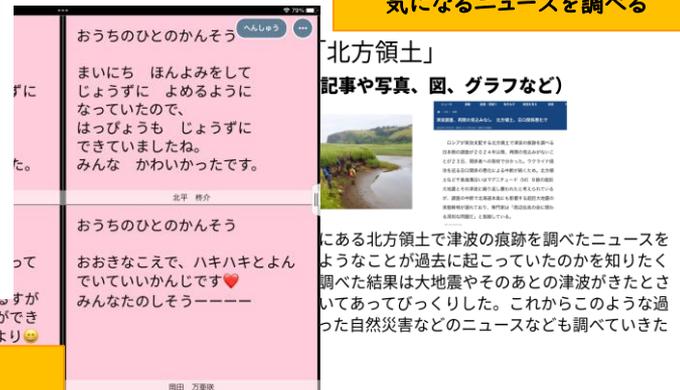
ガイドラインの見直し



日記のコメントでつながる



気になるニュースを調べる



保護者の感想

たのしみに読んでいましたが、えいそうでみることでうれしかったです。ははより

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立東貴志小学校（和歌山県）

【取組内容④】「ペーパーレス化とクラウド管理による校務の効率化」

本校では、これまで紙資料で行っていた職員会議をペーパーレス化し、すべてクラウド上で資料を準備、使用しています。また、会議以外の様々な情報もペーパーレス化し、クラウド上で共有しています。

《Before》

- △ 提案者が全教職員の分を印刷していた。
- △ 毎回多くの資料を取り、整理する必要があった。
- △ 会議で、資料内容に変更などがあった場合は、再度提案者が印刷し、配付しなければならなかった。
- △ 受け取った資料の整理が大変だった。

《After》

- ◎ 大量の印刷、配付の手間が省ける。
- ◎ 内容に変更があっても編集後Teamsに再度アップすればよい。
- ◎ 資料の整理が簡単。（必要なデータは、検索ですぐに出る）
- ◎ 紙で保管したい場合は、個人の判断で印刷可能。
- ◎ 事前にデータをアップしておくことで、確認や読み合わせをしておいてもらうことが可能。→ 会議の時間短縮へ
- ◎ タブレット上のデータにメモ等の書き込みも可能。

《ポイント》

- ☑ Teams、OneDriveを活用し、ペーパーレス化
 - 同一IDでログインし、パソコン・タブレットの双方から閲覧、アップロード可能に。
- ☑ タブレットが配備されていない「市会計年度任用職員」への対応
 - 職員室内に共有タブレットを設置する。
 - 提案者は一部だけ紙で用意しておく。会議後、記録係がタブレットの配備されていない教職員の分だけまとめて印刷。
- ☑ 徹底したサポート
 - 会議資料のアップロードの仕方やタブレット上でのデータのコピーの仕方等をまとめ、全教職員に配付。
- ☑ どんな資料でもアップロードできるように
 - Teams内で「職朝」「保健関係」等のチャンネルを作成し、様々な情報の共有に活用。

Teams へのデータのアップロード（パソコンから）

1. アップロードしたいデータを PDF ファイルにする。



2. Teams にアップロードする。



★データのタイトルは、わかりやすいものにしてください！

いつも会議前にしておくこと

1. 共有フォルダから個人のフォルダへデータをコピーする



教職員に配付した資料の一部

【取組内容④】「行事予定のクラウド管理・共同編集による校務の効率化」

本校では、サーバー上で管理していた行事予定のExcelデータをクラウドに移設し、クラウド上で共同編集できるようにしました。

《Before》

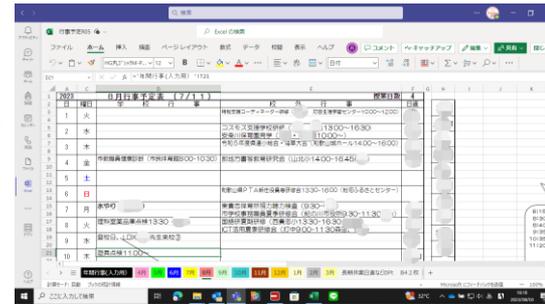
- △ サーバー上のExcelデータで管理していた。
- △ 教職員には紙で印刷した行事予定表をその都度配付していた。
- △ サーバー上で誰かがデータを開いていると、他の教職員はそのデータを編集できない。
- △ 出先で最新の自校の行事予定を確認できないため、出張等で校外に出る場合は印刷して持参する必要がある。

《After》

- ◎ Wi-Fi環境下であれば、いつでもどこでも最新のデータを見ることが出来る。（タブレットの設定を「オフラインで利用可能」にしておけば、Wi-Fiの無い環境でも閲覧可能。）
- ◎ 共同（同時）編集が可能。
- ◎ パソコンだけでなく、タブレットでも操作が可能。
- ◎ 基本的に全教職員への紙での配付が不要に。

《ポイント》

- ☑ Teams、OneDriveを活用
- ☑ 職員室の月行事表を無くし、データでの確認が中心に。
→ 職員室内のホワイトボードにある行事予定表をなくし、定期的に最新の行事予定を拡大印刷して掲示。
- ☑ 業務を分散
→ 教職員が各自で出張予定等を入力、更新。
- ☑ タブレットが配備されていない「市会計年度職員」への対応
→ 職員室内に共有タブレットを設置する。
- ☑ タブレットからのプリントアウトの流れも丁寧に確認
- ☑ その他のデータも共同編集
→ 安全点検、特別教室の予約表等も共同編集可能にし、クラウド上で入力・確認可能に。
- ☑ 徹底したサポート
→ 会議資料のアップロードの仕方や、タブレット上でデータのコピーの仕方等をまとめ全教職員に配付。



行事予定の共同編集の様子



教職員に配付した資料の一部



特別教室の予約表

【取組内容④】「チャンネル活用による情報共有・交流の効率化」

本校では、Teams内にジャンル別のチャンネルを作成し、各担当が情報を発信しています。

《Before》

- △ 伝えたいことがあれば直接顔を合わせて伝えていた。
- △ 少しの連絡でも資料を印刷・配付していた。
- △ データは校内サーバー内で保管・編集していた。
- △ 情報を確認するには紙を持っておくしかなかった。
- △ 実践していても見に行けず、詳しくわからない。

《After》

- ◎ 顔を合わせなくても自分のタイミングで伝達可能。
- ◎ 印刷・配付の手間なく、手軽に資料を共有。
- ◎ タブレットがあればいつでもどこでも情報を確認可能。
- ◎ 回覧・掲示することなく、職員から必要な回答をもらうことができる。
- ◎ 各自が実践を発信し、コメントやアドバイスし合えるように。

《ポイント》

- ☑ ジャンル別のチャンネルを作成
→ 「学校運営全般」「今日と明日の予定」「保健関係」「職員会議」等のチャンネルを作成し、各担当が情報発信の中心に。
- ☑ 閲覧後は、確認状況がわかるようにスタンプやコメントを付けてもらう。
- ☑ 行事予定・特別教室の予約・安全点検・長期休業の動静表等をチャンネル上で共同編集（タブレットからも可能）
- ☑ チャンネル活用の定着に伴い、週2回あった職員朝礼を無くし、週末の放課後に終礼のみ実施へ。
→ 直接話さなければいけないことと、チャンネルで済むことのメリハリをつけ、時間短縮と効率アップで働き方改革を目指す。

一般

ホワイトボード

保健関係

共同編集

研究

終礼・職朝

職員会議

行事予定・日課等

本校のチャンネル一覧



研究チャンネルでの実践の交流

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立東貴志小学校（和歌山県）

【取組内容④】「対話的・協働的な教員研修」

気軽に相談・情報交換ができるICTカフェの取組

《Before》

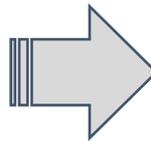
- △ 日々の業務に追われ、相談したり、情報交換したりする時間的余裕がない。
- △ 他の教員の取組を知る機会がほとんどない。
- △ ちょっとした悩みでも遠慮してなかなか聞けない。

《After》

- ◎ Teamsのチャンネルで日々の実践や悩みを共有できるようになったことで、教員同士がクラウド上でつながり、気軽に相談したり、情報交換したりできる風土が生まれた。
- ◎ ICTカフェでは、飲み物などを用意してリラックスした雰囲気の中で、共通理解を図りたいことや日頃の実践の交流を行った。短い時間で設定することで参加しやすくなり、会終了後も雑談を交えながら、タブレットの効果的な活用の仕方について話し合う姿も見られた。
- ◎ そういった取り組みを進めていくことで、職員室でも自然と学び合う教職員の姿が見られるようになった。

Teamsのチャンネルで
日々の実践や悩みを共有

ICTカフェで気軽に情報交換



職員室でも学び合う



リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立東貴志小学校（和歌山県）

【取組内容⑤】「市内各校への日常的な実践紹介と学校ホームページによる毎日の情報発信」

本校では、市内教職員等のタブレット528台に日常的に取り組みの様子を発信。学校ホームページも毎日更新しています。

《Before》

- △ これまでの研究指定校は、実践発表の機会が限られていた。(発表会当日と報告資料)
- △ 公開授業・研究授業だけが取り組みではない。日頃のごくごく普通の実践を見てもらう機会が少ない。
- △ どの学校でも、なかなか他の先生の授業を参観（互見）できる機会が確保できない。

《After》

- ◎ 市内全教職員が所属するTeams上に、「タブレット活用事例」というチャンネルを開設。
- ◎ 校長が各教室の取り組みの様子（活用事例）を、画像・動画とコメント付きでほぼ毎日チャンネルにアップ。
- ◎ 他校教職員が、活用事例を真似たりアレンジしたりして実践。
- ◎ 学校間の垣根を越えて、実践の交流が生まれた。

社会	環境とわたしたちの暮らし
4時間 p.236～247	5年生最後は「国土の環境を守る」をテーマに学びます。まずは、環境問題について日本の歩みについて学びましょう。
勉強した日 1/29	めあてとポイント(めあては「全員ができる」です。) 1. 日本が急げばに産業化が進み、くらしの変化や公害が発生したことがわかる。(p.236～237) ロイノート①
2/	2・3 四日市ぜんそくについて調べ、まとめることができる。(p.238～243) ロイノート②③

4日市でぜんそくが...
4日市でぜんそくが...

チャンネル「タブレット活用事例」への日々の投稿

3年生の国語「つたわる言葉」。自分のお気に入りの作品についての紹介文を書く準備をしています。

学校HPでも毎日情報発信

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紀の川市立東貴志小学校（和歌山県）

【取組内容⑤】「ハイブリッド型の実践発表」

本校では、実践発表（研究発表）の持ち方について、これまでの集合型ではなく、新しい型を提案しました。

《Before》

- △ コロナ前は、集合型の研究発表会を1回行うのが主流であった。
- △ 研究成果を広めるためには、研究発表会に参加してくれた教員に、自校で校内伝達をしてもらう必要がある。
- △ 出張に出られる人数には制限がある。
(同じ日に他の研究会、感染症で欠勤する同僚)

《After》

- ◎ 『授業公開（録画）→配信→後日オンライン研修会』×2回
- ◎ 近隣校教員には積極的に実践発表への参加を呼びかけ。
→生の授業・教室の雰囲気からの学び、若手教員の育成
- ◎ 提案授業は録画し、YouTubeで限定配信、視聴後アンケート
→参加できなかった教員も視聴可能
- ◎ オンライン研修会（研究協議）の実施
→移動時間が不要、視聴のみの参加者も参加しやすい

授業公開（録画）



【提案授業】1年生：国語 参観（視聴）後 アンケート

提案授業（1年生：国語）を参観（視聴）いただき、ありがとうございます。
つきましては、オンライン研修会の際に参加とさせていただきますので、下記のアンケートにご回答ください。
オンライン研修会にご参加いただけない方もご回答ください。
どうぞよろしくお願いいたします。

《オンライン研修会》
令和6年1月30日（火）
14時30分～16時30分

《参加申込》
県内の学校関係者
県教育委員会から12月末に送付された「(本校)第3次案内」にある二次元コードから。
県外の学校関係者
リーディングDXスクールのホームページ
<https://readingdxschool.mext.go.jp/event/>から。



リーディングDXスクール指定校紀の川市立東貴志小学校1年提案授業

11 回視聴 8 時間前 ... その他

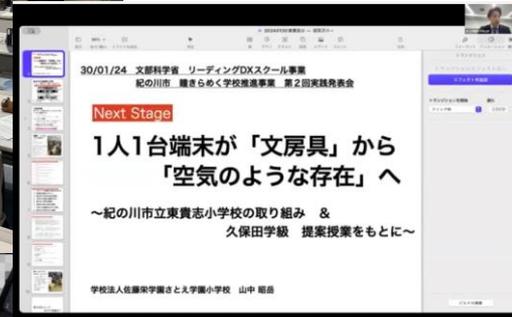
和歌山県_教育DX推... チャンネル登録

授業動画の限定配信

オンライン研修会



紀の川市立東貴志小学校
オンライン研修会



① 授業動画 授業動画配信URL (YouTube限定配信)

<https://youtu.be/...>

② 提案授業指導案

HP上で、指導案
動画配信URLの公開、オンライン
研修会参加申し込み受付